



令和2年度

施政方針

令和2年かすみがうら市議会第1回定例会において、坪井市長が令和2年度の市政運営に対する施策概要を述べました。今回は、令和2年度におけるまちづくりへの主な取り組みを紹介します。

図 政策経営課（千代田庁舎）

自然の恵みを享受できる
まちづくり

令和2年度に予定されている筑波山地域ジオパークの再認定審査に向け、筑波山地域ジオパーク推進協議会をはじめ、市民や関係団体などと連携し、普及啓発に取り組みます。

これからも安全・安心な水を安定的に供給するため、計画的かつ適切に水道施設の維持、ならびに更新に取り組みます。下水道施設全体を適正に維持管理するため、引き続き、「ストックマネジメント計画」の策定を進めます。

近年、管理の行き届いていない空家などの増加が全国的な課題となる中、「空家等対策計画」に基づき、空家などの適切な管理・有効利活用の促進を図り、地域の生活環境の保全と活性化に取り組みます。

産業の振興で
活力あふれるまちづくり

本市の農林水産業の発展に向け、生産者の皆さんが意欲を持って、安定した経営に取り組めるよう積極的に支援し、一次産業を支える担い手の確保や育成を図ります。

地域活性化DMO推進事業について、サイクリングと地域資源の活用を組み合わせた体験型観光事業を展開するなど、「歩崎地域観光振興アクションプラン」を着実に実行していきます。

また、デジタルサイネージや観光アプリなどを活用して、市の観光イ

ごみ減量化・分別によるリサイクルを推進し、環境への負荷が少ない循環型社会の形成を目指します。

ど、自転車を活用した施策を取りまとめた「自転車活用推進計画」の策定を進めます。

古民家を活用した茨城ブランド力向上事業の改修モデル第1号として、宿泊施設へと整備を進めている歩崎公園に隣接する古民家や、歩崎公園湖岸沖に整備した浮き桟橋などの新たな施設を有効に活用し、より一層、歩崎地域の集客力向上と交流人口の拡大に努めます。

安全で快適に暮らせる
まちづくり

まちの将来像とその実現に向けて、都市計画に関する基本的な方針を定める都市計画マスタープランの改定とともに、立地適正化計画の策定を、引き続き進めます。

公共交通について、公共交通事業者と連携を図りながら、市民の生活を支える公共交通を確保していきます。

また、市全体の公共交通ネットワークの再構築を図るため、新たな地域公共交通計画の策定を進めます。
常磐自動車道千代田パーキングエ

リアを候補地として、検討を進めている「仮称…かすみがうらスマートインターチェンジ」の設置に向けて国などに強く働きかけていきます。
国道6号千代田石岡バイパスの未事業化区間の早期事業化や霞ヶ浦二橋の建設促進について、近隣自治体と連携を図りながら、引き続き、国や県に要望していきます。
千代田大橋先から角来地区に接続する「石岡・かすみがうら広域幹線道路」の整備について、引き続き、石岡市とともに計画的に進めていきます。
市民が一体となった総合防災訓練などを通じて、行政区などによる自主防災組織の結成促進や防災士の育成に引き続き取り組み、自助と共助の意識の醸成を図ります。
国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための地域計画の策定を進めます。
地域の防犯力の向上を図るため、引き続き、防犯灯の設置を促進するとともに、ジョギングやウォーキングなどの機会を通じて、地域のパトロールを行う防犯団体と連携を図りながら、ジョギングパトロール事業などに取り組みます。

健康で思いやりをもって
暮らせるまちづくり

現在、整備を進めている「かすみがうらウエルネスプラザ」について、本年6月から供用を開始し、市民の健康づくりやコミュニティ活動を推進します。

「要援護高齢者等福祉タクシー利用料金助成事業」の助成券の交付枚数をさらに拡充します。

妊娠期から子育て期の総合的な相談窓口として「子育て世代包括支援センター」を健康づくり増進課内に開設し、保健師などが妊娠、出産、子育てに関するさまざまな相談に応じるとともに、特に支援が必要な方を対象に、引き続き、産後ケア事業を実施します。

産後間もない時期の心と体の健康維持や増進に向けて、産後2週間と1カ月の産婦の方を対象に産婦健康診査を新たに実施します。

さらに、生後1カ月の新生児を対象に聴覚検査を実施します。

骨髄などを提供するドナーへの経済負担軽減を目的とした助成制度を創設し、骨髄バンクドナー登録の推進を図ります。

令和2年度 かすみがうら市の 予算概要

令和2年度当初予算編成については、財政の健全性を維持・向上させるよう行財政改革を着実に進め、事業の必要性や費用対効果について十分に精査し、安全で安心して暮らせるまちづくり、そしてふるさとに誇りを持てるまちづくりを目指し、限られた財源の中で積極的な予算編成に努めました。

図 政策経営課 (千代田庁舎)

一般会計歳入

一般会計、特別会計を合わせた予算総額は、279 億 6,100 万円となりました。

- ▶市税は、個人住民税、固定資産税の家屋、償却資産を見込み、5,357万円、1.0%増
- ▶地方交付税は、震災復興特別交付税対象事業費が増加することから、6 億 7,138 万円 2 千円、16.5%増
- ▶国庫支出金は、千代田中学校区統合小学校環境整備事業の実施により、1 億 8,594 万円 3 千円、8.7%増

一般会計歳出

一般会計予算総額は、192 億 9,300 万円となりました。

目的別歳出

- ▶衛生費は、新広域ごみ処理施設建設に伴う負担金の増などにより、6 億 729 万円 8 千円、29.3%増
- ▶教育費は、千代田中学校区統合小学校環境整備事業の実施などにより、9 億 9,219 万円 8 千円、71.2%増
- ▶総務費は、複合型健康福祉拠点施設整備工事の終了などにより、5 億 6,770 万 9 千円、22.7%減

性質別歳出

- ▶人件費は、会計年度任用職員制度の導入により、物件費（その他費用内）から人件費に変更されることなどにより、2 億 7,086 万円 9 千円、8.3%増
- ▶公債費は、市場公募債に係る満期一括償還の終了により、1 億 9,690 万円、8.7%減
- ▶普通建設事業費は、複合型保健福祉拠点施設整備工事や歩崎棧橋設置工事が終了するものの、千代田中学校区統合小学校環境整備事業の実施などにより、1 億 1,911 万円 8 千円、6.1%増

<義務的経費>

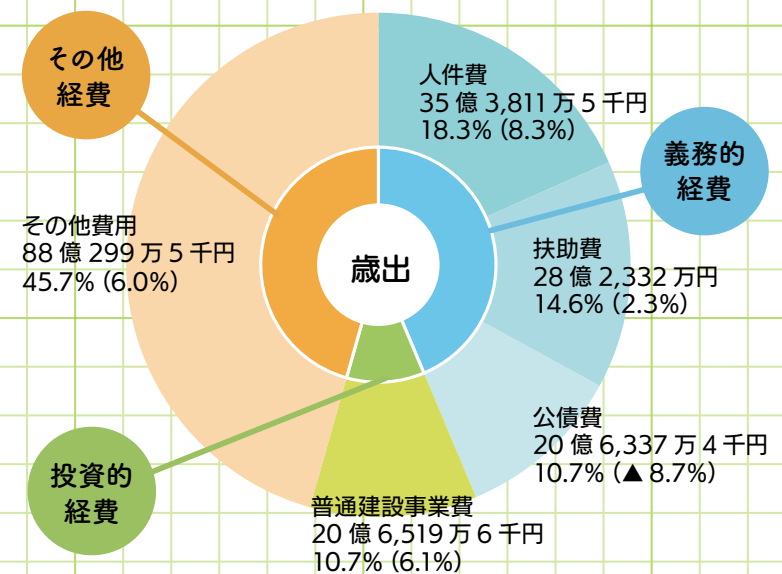
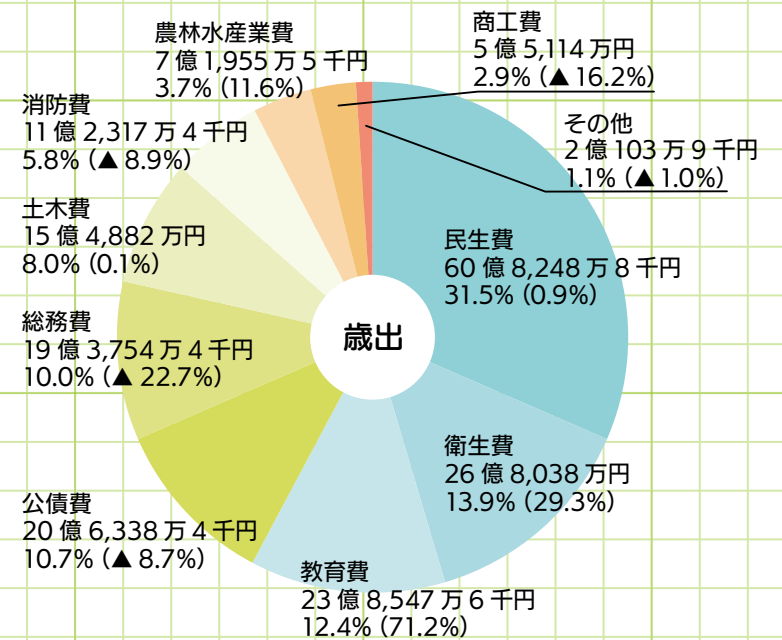
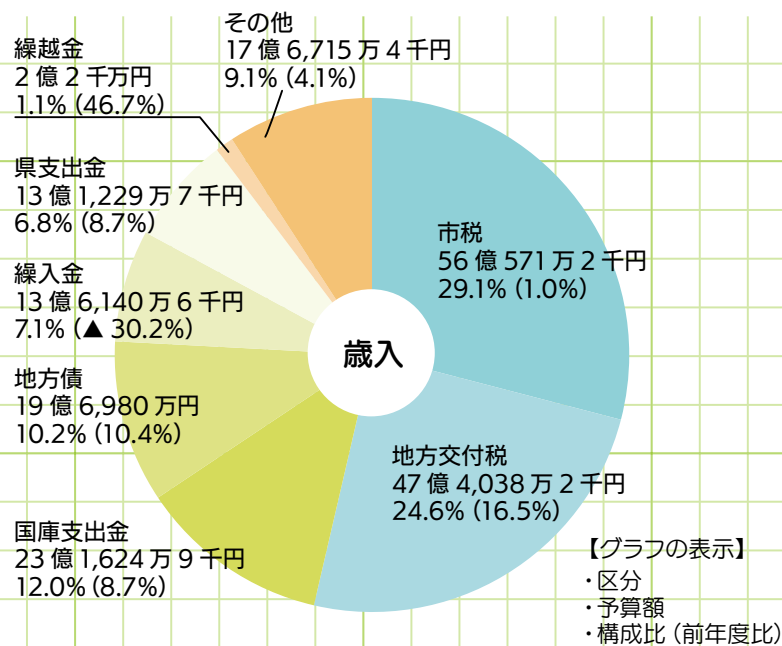
その支出が義務付けられ、任意に節約ができない経費（人件費、扶助費、公債費）

<投資的経費>

道路や施設などの整備に使う経費（普通建設事業費、災害復旧費）

<その他経費>

上記以外の経費（物件費、補助費等、積立金など）



人口減少・少子高齢化が進む中、婚活サポートセンターにおいて、引き続き、結婚を希望する方々の出会いから成婚までをサポートする結婚支援事業に取り組みます。

少子化対策について、引き続き、出産祝い贈呈事業を実施し、子どもの健やかな成長を支援します。

全国的に保育士不足が深刻化する中、民間保育園などにおける保育士の業務負担の軽減につながる支援を継続していきます。

放課後児童クラブの運営を本年10月から民間委託し、子どもの安全と良質なサービスを提供していきます。

青少年の健全な育成に資する団体を支援し、地域の担い手となる人材の育成に取り組みるとともに、市民が生涯にわたって学習する機会の充実を図ります。

本市の魅力や首都圏に近い立地条件などを生かしながら、新たな企業の誘致や拠点化を力強く推し進め、市内産業の活性化と安定した雇用の創出、さらに地域経済の発展につなげていきます。



（仮称）千代田中学校区義務教育学校完成予定図

千代田中学校区統合小学校について、整備基本計画に基づき、施設一体型の義務教育学校として、令和4年度の開校を目指し、現在の千代田中学校校舎の増改築工事に着手していきます。

避難所としての機能を備えた新たな下稻吉中学校の体育館整備に向け、地質調査と基本設計を進めていきます。

平成30年3月に国選択無形民俗文化財に選ばれた「霞ヶ浦の帆引き船網漁の技術」に関する調査を3年間にわたって、土浦市、ならびに行方市と共同で進めます。



市民一人ひとりが夢や希望を持ち、いきいきと活躍するまちを目指し、市民と行政が一体となった協働のまちづくりを進めていきます。

まちづくり活動に取り組む市民団体や特定非営利法人、行政区を積極的に支援するとともに、これらの活動を広く市民に紹介し、市民参画意識の向上を図ります。

花壇の植栽や手入れなど、緑化・美化活動を行い、人と自然が共生する緑豊かな都市環境づくりに取り組みます。

行政が果たすべき役割を十分に認識し、総合計画との整合性を図りながら行政運営に取り組み、今後とも質の高い行政サービスを提供していきます。

未来を担う若者を育て
まちづくり

豊かな学びと創造の
まちづくり

みんなでつくる連携と
協働のまちづくり